

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

三の場面のじんぎの気持ちのへん化を考えよう。

場面	小見出し	へん化の心筋曲線
一	年取ったじんぎ やる気がある。うれし	さびしい元気がない やる気はないまし
二	男の子と出逢った へん化	
三		
四		
五		

じんぎは、もうねむらないでまっていた。

じんぎは乗り出して、うなずいて聞いていた。

じんぎの体に力がこもった。

目がぴかっと光った。

「・・・ようし、あした、わしはわかいときのように、火の輪五つにしてくぐりぬけてやろう。」

理由

一日じゆうねむっていた 目が白くにごっている やる気がない

男の子…チョコレートを半分こ じんぎに会いに毎日きてくれる
あした火の輪をくぐるのを見に来てくれる

へん化

ねむらないで 男の子を待っている
わかいライオンの ようになった
男の子のために がんばろう

【5 / 8 時間目 指導略案】 使用するワークシート②⑤
活動のねらい

少年との交流を通して、火の輪くぐりへの意欲を奮い立たせていくじんぎの気持ちの変化を叙述に基づいて読み取ることができるようにする。

1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 前時で学習した、じんぎの元気になっていく様子を振り返り、本時のめあてを確認する。

2 学習場面を音読する。

○ じんぎの顔を心情曲線に貼ることと、そこに貼る根拠となったじんぎの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に三の場面を音読させる。

3 じんぎの気持ちについて、自分の考えをもつ。

【発問】三の場面のじんぎの気持ちはどう変わったでしょう。

① 心情曲線にじんぎの顔を置く。

② じんぎの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。

③ 付せんをワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。

4 じんぎの気持ちについて、話し合う。① ペアで ② 全体で

○ じんぎの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。

○ 理由の中にじんぎの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。

○ 児童の発言を基に、じんぎが少年の優しさに触れ、火の輪くぐりへの意欲を奮い立たせていったことを確認する。

5 三の場面のじんぎの気持ちの変化を考えながら、じんぎの顔の位置を決めて貼りつける。

○ 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。

【評価】叙述を基に、じんぎの気持ちの変化をとらえることができる。（イ1）

6 本時の学習をまとめ、次時は四の場面を学習することを知らせる。

○ ワークシートで自己評価をする。